秋田市立中通小学校「環境美化の集い」

東北森林管理局 技術普及課、秋田森林管理署

東北森林管理局では、平成14年度から本局と隣接している秋田市立中通小学校と協働で、木製プランターに花苗を植栽する環境美化活動を実施しています。22回目となる令和５年度は、昨年度使用した木製プランターの表面を紙ヤスリで磨き、木材の再利用について学習した後、４種類のきれいな花苗を植えました。また、「森と木の学習」を通して森林の役割について学びました。

MENU 1 木製プランターのお手入れ

今回花を植えるプランターは、昨年度に先輩方が秋田スギの板材で作成したものです。屋外で半年間展示されたプランターは、黒く日焼けをし、泥が付いて汚れていたので、花を植える前にお手入れすることにしました。

はじめに、お手入れ前とお手入れ後のプランターを見比べながら、木製品のお手入れについて学びました。その後、実際に紙ヤスリを使ってプランターのお手入れに挑戦しました。子供たちは、プランターの汚れた部分を紙ヤスリで力いっぱい擦り、表面が削られてきれいになることを実感していました。また、紙ヤスリで磨いた後には、木製品をお手入れしながら長く使うことの大切さについて学びました。

MENU 2 花苗の植付け

花苗は夏の暑さに強く、晩秋まで元気に咲く４種類（ニチニチソウ、センニチコウ、ペチュニア、コリウス）を植えました。名前の由来や開花期、花の形の特徴などについて学んだ後、当局職員のお手本を見ながら１つひとつ丁寧に植えていました。

MENU 3 森と木の学習

森林の役割について、クイズを交えて紹介しました。森林には災害を防ぐ働きや水を蓄える働き、地球温暖化の防止に貢献する働きなど、たくさんの役割があることをしっかりと聞いて学んでいました。クイズの難易度は少し高めでしたが、みなさん元気よく答えてくれました。

子供たちの感想

- プランターのお手入れで全力で磨いて、頑張ればとてもきれいになることを初めて知った。
- 木でできた物が汚れてもすぐに捨てないで、工夫をすればまた使えるということが分かった。
- もっとたくさん花を植えたい。花や草木の名前と特徴について詳しくなりたい。
- 木の性質や森の働きについて知ることができた。今後も森を守っていきたいと思った。